

スウェーデン エステルヨートランド県知事一行が北海道開発局を訪問しました。



平成30年3月23日に、スウェーデンのエステルヨートランド県ニルソン知事一行が北海道開発局を訪問しました。

日本とスウェーデンが今年外交関係樹立150周年を迎えることから、エステルヨートランド県知事を含む一行が、北海道内の関係機関や、姉妹都市関係にある自治体と交流を図りたいとの希望により来道し、北海道スウェーデン協会顧問 川崎一彦氏とともに北海道開発局を訪れ、局長との意見交換が実施されました。



局長からの歓迎の挨拶においては、当局が1985年から在スウェーデン日本国大使館に職員を派遣していることや、北海道で活用されているスウェーデンの技術のほか、昨年オープンした「北欧の風道の駅 とうべつ」について、ご紹介しました。

ニルソン知事からは、南北に国土が長い同国において、国民一人あたりのインフラコストが高額であり、発展する大都市と過疎が進む地方とのバランスを取ることが課題となっていることや、公共インフラ投資をする際には、その性能や規模についてエコの視点に基づいた検討がなされていることなどが紹介されました。

このたびの訪問により、当局とエステルヨートランド県の交流が促進されることが期待されます。